

公益財団法人 仁科記念財団
平成 24 年度 事業報告書

公益財団法人仁科記念財団の公益目的事業は、定款第 4 条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において (1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与 (2) 内外著名研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催 (3) 歴史的資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営 (4) 知識および思想の普及啓発のための出版物刊行などの活動 (5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成である。

平成 24 年度は、以下の公益目的事業を行った。

1. 仁科記念賞

仁科記念賞は、広い意味での原子物理学およびその応用に関して顕著な業績をあげた比較的若い研究者に授けられる賞で、当財団創設の 1955 年以来、毎年数名の将来性豊かな研究者に授与されてきた。これまでの受賞者の総数は 170 名となり、その中からは、ノーベル物理学賞受賞者 4 名、文化勲章受章者・文化功労者 17 名、恩賜賞・日本学士院賞受賞者 28 名をはじめ、国内外で著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。

仁科記念賞規程では、① 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、日本化学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は 3 件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 500 千円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で行うこととしている。

平成 24 年度、第 58 回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。今年度は 13 件の推薦があり、選考委員会（藤川和男委員長他 13 名）において各候補者について慎重に審議した結果、次の 3 件に授与することとした。この結果は平成 24 年 11 月 2 日に開催された第 4 回理事会において承認され、11 月 9 日記者発表を行った。授賞式は平成 24 年 12 月 6 日（木）に執り行われた。

- ・受賞者：細野秀雄（東京工業大学フロンティア研究機構教授）
研究題目：鉄系超伝導体の発見
- ・受賞者：井上邦雄（東北大学ニュートリノ科学研究センター教授）
研究題目：地球内部起源反ニュートリノの検出
- ・受賞者：初田哲男（理化学研究所仁科加速器研究センター主任研究員）

青木慎也（筑波大学数理物質科学研究科教授）

石井理修（筑波大学数理物質科学研究科特任准教授）

研究題目：格子量子色力学に基づく核力の導出

2. 仁科記念講演会

仁科記念講演会は、当財団創立以来の重要な事業で、社会に原子物理学の真髄を啓発するため、50年以上にわたって一般の参加を得て開催されてきている。

今年度は、宇宙線の発見 100 周年に因んだ第 58 回仁科記念講演会が開催された。

○第 58 回定例仁科記念講演

日 時：平成 24 年 12 月 6 日（木）15:00 ～ 17:00

場 所：東京大学理学部 1 号館 小柴ホール

主 催：仁科記念財団

共 催：東京大学宇宙線研究所

後 援：日本アイソトープ協会

挨拶：小林 誠（仁科記念財団理事長）

講 師：佐藤文隆（甲南大学教授）

題 目：「宇宙線の発見まで」

講 師：梶田隆章（東京大学宇宙線研究所教授）

題 目：「宇宙線発見から 100 年経って」

参加者：約 80 名

講演録が NKZ シリーズとして刊行される予定。

3. 仁科記念室

(1) 資料の提供

- ・中日新聞／東京新聞が 8 月 16 日「第 1 回 幻の原爆製造」9 月 25 日「第 2 回 封印された核の恐怖」11 月 7 日「第 3 回 被ばくの記憶 原子力の夢」を朝刊に掲載。
- ・大日本図書株式会社：書名「たのしい学校」掲載場所「日本の科学者」
- ・日本物理学会誌（2012 年 12 月号）表紙他
- ・「物理学への道程」朝永振一郎著、江沢 洋編 みすず書房 平成 24 年 12 月 20 日発行。

(2) 見学者

- ・団体の見学：岡山県里庄町中学生（9 名）他
日時：平成 24 年 8 月 1 日 午後 1 時～3 時
見学会名：「仁科芳雄博士の足跡を訪ねて」

主催者：里庄中学校、科学振興仁科財団、里庄町

目的：仁科博士の出身地の岡山県里庄町で選抜された中学生を対象にした「仁科博士の足跡をたどる国内・海外研修の旅」の一環

- ・団体の見学：理化学研究所主任研究員会議 26名

日時：平成 24 年 8 月 31 日 午後 4 時～5 時

見学会名：「理研発祥の地」

- ・個人の見学：小谷隆亮大洗町長、中日新聞記者、長崎大学核兵器廃絶研究センター・長崎大学原爆後障害医療研究施設研究員、みすず書房社員、共同通信記者、他、団体見学を含め約 90 名の見学があった。

(3) 資料の整理

- ・往復書簡等一次史料の保全・保管のため（株）資料保存器材よりアーカイバルバインダーA4、リフィル 50 枚入りを 112 セット購入。

4. 研究関連等の出版

- ・仁科記念財団案内（2012 年 6 月）

5. 研究者の海外派遣・招聘

仁科記念財団は 1992 年～2009 年の間、本財団の主たる事業として、発展途上国・主にアジアの将来性豊かな若手研究者を国内の研究機関に受け入れ、その研究活動を支援してきた。しかしながら昨今、このような海外若手研究者の招聘助成事業は国内に多くみられるようになり、本財団の事業としての特色が薄れてきている。

そこで本財団では、数年前からアジアの若手研究者を奮励鼓舞する特色ある新たな支援事業を検討し、平成 24 年度に「Nishina Asia Award」を創設する運びとなった。

Nishina Asia Award は、アジア地域できわめて優秀な成果を収めた日本以外のアジア国籍の若手研究者を毎年 1 名選考して、賞状と賞牌および賞金 400 千円を仁科記念賞授賞式の場で授与し、さらに授賞式の前後約 2 週間、わが国研究者との研究交流を助成するという事業で、これを研究者の海外派遣・招聘事業予算で実施する。

第 1 回となる 2013 年 Nishina Asia Award は、平成 25 年 1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページに候補者募集要項を公表するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、21 件（中国 8 件、韓国 5 件、台湾 2 件、ベトナム 2 件、インド 2 件、シンガポール 1 件、マレーシア 1 件）の応募があった。選考は Nishina Asia Award 規程に則り当該選考委員会（江口 徹委員長他 11 名）で行い、選考結果は理事長の承認を得て 9 月初旬には受賞者に通知される。

6. 賛助会員

平成 24 年度、住友重機械工業株式会社と株式会社日立製作所が入会し、賛助会員数は 10 法人、3 個人となった。

7. 会議の開催

平成 24 年度に開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。開催場所はすべて日本アイソトープ協会第 3 会議室。

(1) 評議員会

1) 第 2 回 (定時)

日時：平成 24 年 6 月 18 日 11:00~13:00

出席評議員：有本、郷、佐藤、鈴木、高橋、伊達、中原、廣田、宮沢、山崎、吉田
評議員

出席監事：荒船、池田監事

出席理事：小林理事長、矢野常務理事

議事：①平成 23 年度事業報告書および決算書が原案通り承認された②平成 23 年の会計監査人として宮田芳直公認会計士が重任された③役員等候補者選定小委員会規則を制定し、委員として山崎会長（議長）、郷、佐藤、鈴木、伊達評議員が選任された④役員等費用弁償規程が制定された。

(2) 理事会

1) 第 3 回

日時：平成 24 年 5 月 21 日 11:00~12:00

出席理事：秋光、江澤、小林、鈴木、田畑、西村、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

議事：①平成 23 年度事業報告書および決算書（案）が承認され、第 2 回定時評議員会に諮ることとした②毎月（特に議題のない月を除く）の運営会議・運営諮問委員会の議事録をもって、理事長、常務理事の職務執行状況報告とすることとした③第 2 回定時評議員会を平成 24 年 6 月 18 日 11:00 より日本アイソトープ協会第 3 会議室にて開催することとした。

2) 第 4 回

日時：平成 24 年 11 月 2 日 17:30~19:30

出席理事：秋光、江澤、小林、鈴木、田畑、仁科（雄）、西村、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

議事：①仁科記念賞選考委員会の提案通り平成 24 年度の受賞者を決定した②Nishina Asia Award 規程を制定した。

3) 第 5 回

日時：平成 25 年 3 月 6 日 11:30~12:30

出席理事：江澤、小林、鈴木、仁科（雄）、西村、矢野、山田理事

出席監事：池田監事

議事：①平成 25 年度事業計画書および収支予算書が承認された②平成 25 年度事

業計画を遂行するため特定資産を 150 万円取り崩すことを承認した③理事長提案の通り Nishina Asia Award 選考委員が選任された。新委員は江口 徹委員長他 11 名。任期は平成 25 年 4 月 1 日より平成 27 年 3 月 31 日まで。

(3) 選考委員会

1) 選考小委員会

日時：平成 24 年 9 月 5 日 15:00~17:00

出席委員：藤川委員長、選考小委員

出席理事：小林、鈴木理事

2) 第 1 回

日時：平成 24 年 9 月 25 日 17:00~21:00

出席委員：藤川委員長、選考委員

出席理事：小林、鈴木、矢野理事

3) 第 2 回

日時：平成 24 年 10 月 22 日 17:00~21:00

出席委員：藤川委員長、選考委員

出席理事：小林、鈴木、矢野理事

議題：①平成 24 年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

(4) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第 1 回

日時：平成 24 年 4 月 25 日 17:30~19:30

出席委員：安藤、江口、梶田、仁科（浩）、早野、藤川委員

出席理事：秋光、小林、鈴木、田畑、西村、矢野理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員会長

議題：①第 2 回評議員会に諮る平成 24 年度事業報告および決算書の理事長案について②Nishina Asia Award の創設について③2012 年度仁科記念講演会「宇宙線発見 100 周年」の企画について。

2) 第 2 回

日時：平成 24 年 6 月 13 日 17:30~19:30

出席委員：梶田、永宮、仁科（浩）委員

出席理事：小林、鈴木、矢野、山田、秋光、田畑、仁科（雄）、西村理事

出席監事：荒船監事

議題：①Nishina Asia Award の創設について②2012 年度仁科記念講演会「宇宙線発見 100 周年」の企画について。

3) 第 3 回

日時：平成 24 年 9 月 5 日 17:30~19:30

出席委員：安藤、家、江口、梶田、永宮、仁科（浩）、藤川委員

出席理事：小林、鈴木、矢野、山田、秋光、田畑、仁科（雄）、西村理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員会長

議題：①Nishina Asia Award の進捗状況について②2012 年度仁科記念講演会「宇宙線発見 100 周年」の進捗状況について③NKZ シリーズを丸善から出版することについて④仁科芳雄先生、朝永振一郎先生のお墓参りについて。

4) 第 4 回

日時：平成 24 年 10 月 17 日 17：30～19：30

出席委員：家、梶田、永宮、仁科（浩）、早野委員

出席理事：小林、矢野、山田、田畑、仁科（雄）西村理事

出席監事：荒船、池田監事

議題：①Nishina Asia Award の進捗状況について②平成 24 年度仁科記念講演会「宇宙線発見 100 周年」の進捗状況について③NKZ シリーズを丸善から出版することについて。

5) 第 5 回

日時：平成 24 年 11 月 21 日 17：30～19：30

出席委員：安藤、家、梶田、仁科（浩）委員

出席理事：小林、鈴木、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員会長

議題：①Nishina Asia Award の進捗状況について（候補者推薦依頼状送付先リスト、英文鏡および応募要領）②NKZ シリーズを丸善から出版することについて。

6) 第 6 回

日時：平成 25 年 1 月 11 日 17：30～18：30

出席委員：安藤、家、江口、梶田、永宮、仁科（浩）委員

出席理事：小林、矢野、山田、田畑、仁科（雄）、西村理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員会長

議題：①Nishina Asia Award 選考委員の選定について。

7) 第 7 回

日時：平成 25 年 2 月 20 日 18：00～20：00

出席委員：安藤、江口、梶田、永宮、仁科（浩）、藤川委員

出席理事：小林、鈴木、田畑、仁科（雄）、西村、矢野理事

出席監事：荒船、池田監事

オブザーバー：山崎評議員会長

議題：①第 5 回理事会に諮る来年度事業計画および収支予算について。

8) 第8回

日時：平成25年3月13日 17:30～19:30

出席委員：安藤、江口、梶田、永宮、仁科（浩）、早野委員

出席理事：小林、田畑、西村、矢野、山田理事

出席監事：荒船、池田監事

議題：①平成25年度仁科記念講演会「ニールス・ボーアの原子模型提唱100周年」
の開催企画について。